

親指はネックの側面、手のひらは楽器の肩側。 第6と第7の中間ポジション

・第6と第7のポジション

親指は楽器の側面、手のひらは楽器の片側に位置します。肘は少し上げておくと安定して押さえられます。ポジションの形を鏡で確認しながら練習するとGood！

前回に続き、吹奏楽作品で主に使用するのはG線（たまにD線）で、A線とE線はほとんど使用することはありませんが、音の並びは覚えておきましょう。

今回も「ダブルシャープ」が登場します。

#で半音上げた音をさらに半音上げて下さいね、という意味があり（重要記号）とも呼ばれます。

たとえば「ファ」の音にシャープ（#）が付けば半音上がり「ファ#」の音になります。そして、ダブルシャープ（x）が付けば、さらに半音上がり「ソ」と同じ音になります。

吹奏楽作品の中にもたまに顔を出す記号ですなので、覚えておくと役に立ちます。

G線を使った第6と第7の中間ポジションの音列

または

第6と第7の中間ポジション 各弦の音

メトロノームと合わせて各弦の音を覚えよう！

はじめはゆっくりから、弓を全部使って、または音符の長さに合わせた配分で練習します。

弓と弦は直角に、左手の形は開放弦を弾いているときも弦の上でキープしておきましょう。

♩ = 44~